

AI × SI

Artificial Intelligence

System Integration

## AI活用における課題と処方箋

ネクサート株式会社 上原 将司

1

# イントロダクション

---

Introduction

## ネクサート株式会社

ネクサート株式会社 当社はWeb系アプリケーション開発をしている企業です。



[お問い合わせ](#) | [個人情報保護方針](#) | [サイトマップ](#)

[提供ソリューション](#) | [開発実績](#) | [企業理念](#) | [サービス向上の取組](#) | [会社概要](#) | [採用情報](#)



設立	1985年(昭和60年) 3月7日
業務内容	各種ソフトウェア受託開発 付帯業務支援サービス
社員数	80名 (平均年齢 29歳)
所在地	西新宿
加入団体	人工知能コンソーシアム 全能アーキテクチャ・イニシアティブ



秘

密

當

業

## AI活用案件ユースケース

Success Case  
成功事例

Failure Case  
失敗事例

2

# AI導入のために大切なこと

---

The important things to introduce AI





A large, solid yellow circle is positioned on the left side of the slide, partially overlapping the text.

まずは目的設定がとても大事。



まずはも大事。

事例を調べる。

けっこう色々  
できる……

詳しくな会社に  
聞いてみよう



## AIに詳しい会社





## 大手



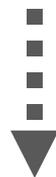
高けえ.....



AIの流れ

終了

なにを間違えているのか？



**「AIを使うことが目的化している」**

## AIプロジェクトをスタートするのに必要なこと

~~△ AI技術をしっかりと習熟すること~~

~~△ ビッグデータの有無~~

○ 決裁権を持っている人の**情熱**

**新しいことやるんだから  
お金はかかるもんだよ**



Small Start.

# データ ≡ ガソリン



- データが無いのにディープラーニングをやりたいというのは、ガソリンが無いのに車を走らせたいというのに近い。
- 手持ちのデータから出来る事を探し、システムのデザインをイメージしていくことが大事。

3

小さく始めたものを大きく育てるためには

---

How to grow it big that started small

だいたいのことは何となくできる。

ただし成果は

準備できたデータの質

そもそものAIエンジニアの質

に大きく依存する。

## AIをちゃんと活用するために必要な環境



AIを継続的に  
賢くするための環境



AIを使って業務効率向上や  
改革が実感できる環境

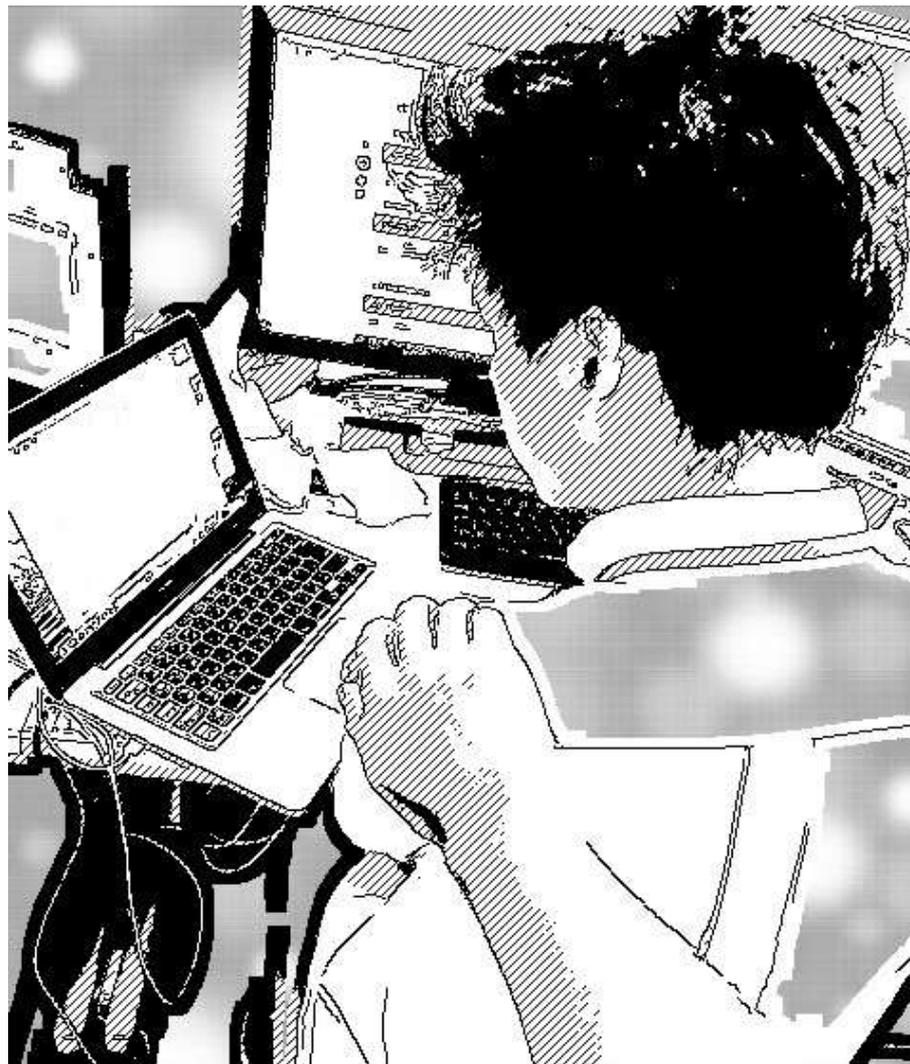
4

# サービスの提供先の選択

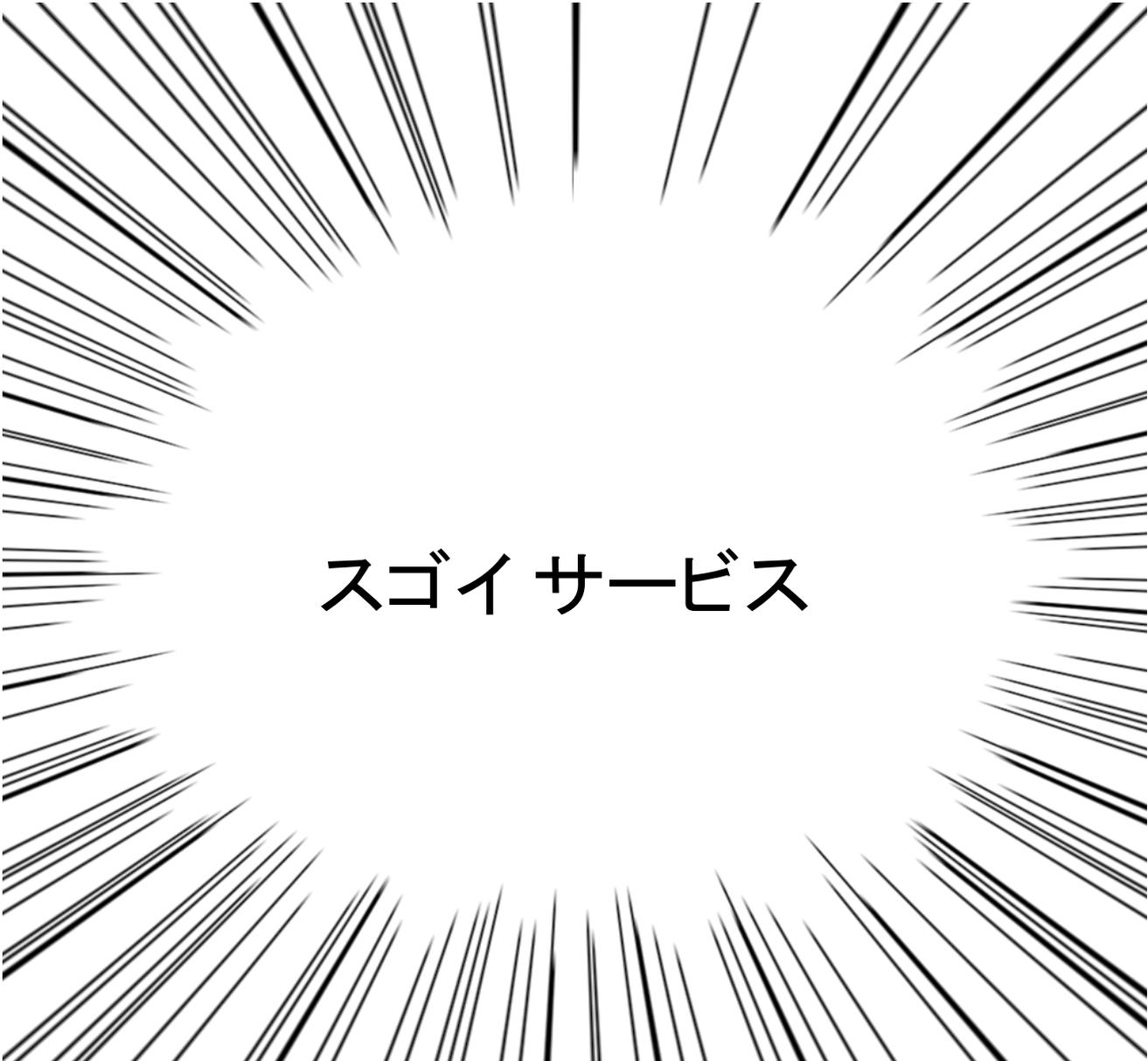
---

How to select service destinations

# 人物画像背景除去



トントン



スゴイ サービス

# 教訓

汎用化されやすい（一般的・ユニバーサルな）  
サービスのためのAIを開発しても  
ビジネス的には成果が出にくい

## 上手くいきそうな事例



## 画像から表面の凹凸を抽出する

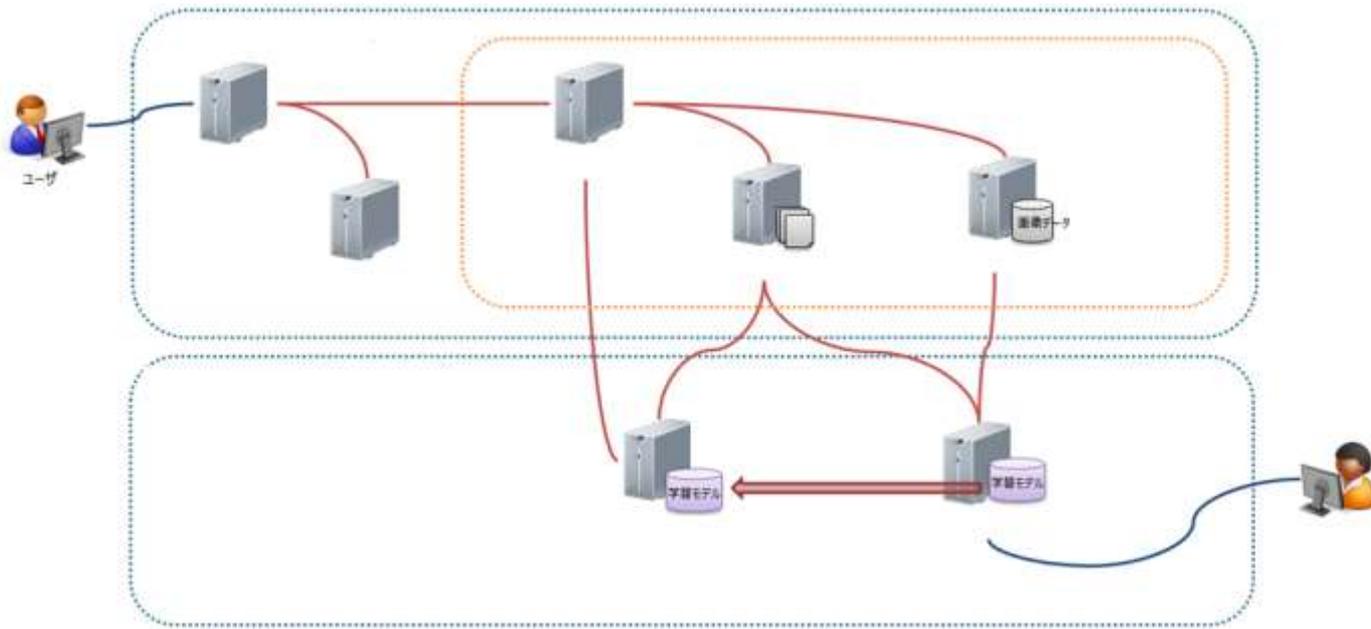
それまで存在していなかった新製品に特化した独自のシステム



元画像

凹凸データ

# 継続的に賢くするための プラットフォームの構築や維持



これらも踏まえて投資

AI活用のための

# 処方箋

- サービスの提供先が特定の業界や業務、新規性を持った領域になっている。
- サービス実現のための主要な手段としてAIを活用できている（今現在なら話題性としても有効）。
- 最初からでかすぎることをしない。少しずつサービスを育てていく感覚が大事。

5

初めの一步をどうするか？

---

What to do as a first step

# 深層学習 WG

リーダー：萩島功一（産総研）

## □ WG活動コンセプト

ステークホルダー

- 深層学習で解決したい課題を持つ企業
- 深層学習に関するソリューションを提供できる企業・大学
- 深層学習を先行研究している大学・企業

解決したい課題

- ① 深層学習のユースケースを共有・開発
- ② メンバー間のマッチング
- ③ オープンイノベーションの場づくり
- ④ 深層学習の人材開発

アウトプット

- 1) 深層学習のオープンイノベーション
- 2) 深層学習の社会実装を加速
- 3) 深層学習の人材発掘・育成・活用

「失敗しても怒られない」

## システム開発

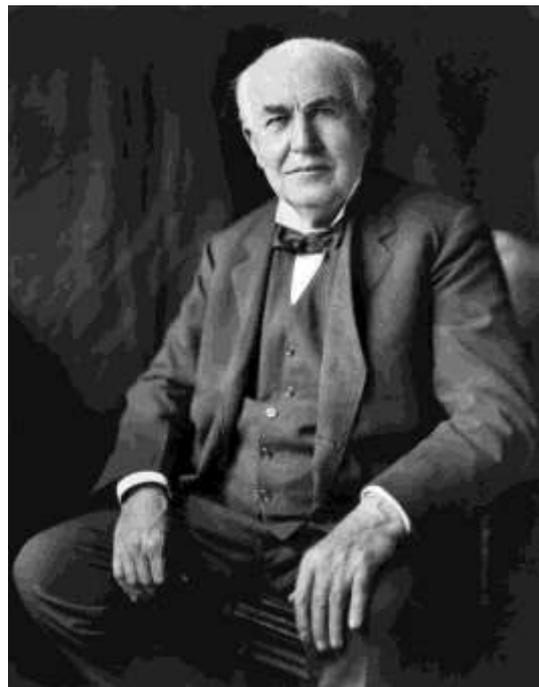


合意形成  
の繰り返し

## AIモデル開発



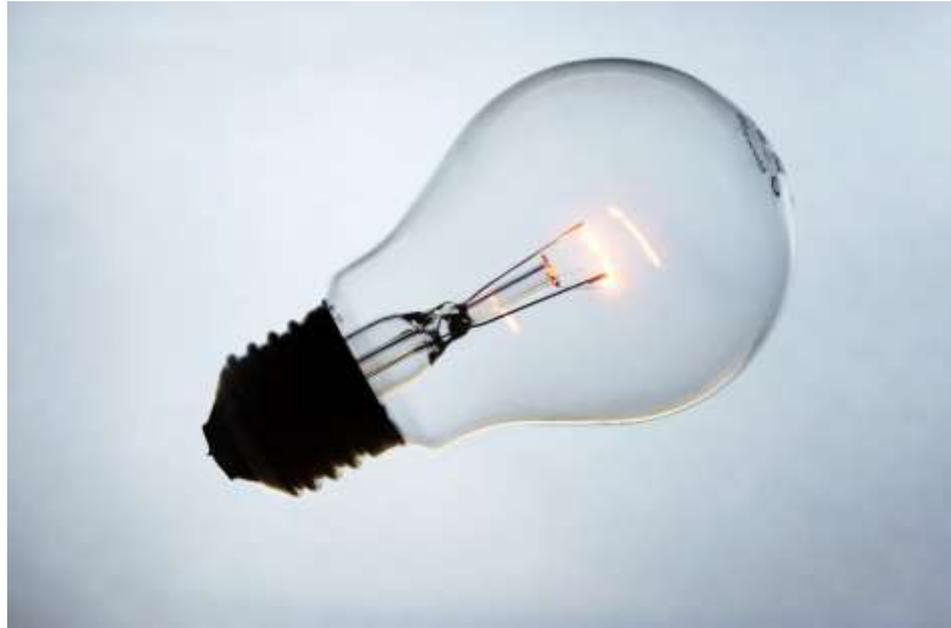
失敗・仮説検証  
の繰り返し



Because not failure, but the way showed that it doesn't work, that's success.

その方法でうまくいかないことがわかったのなら、  
それは失敗ではなく成功なんだよ。

———— トーマス・アルバ・エジソン



ご清聴ありがとうございました。